

ひたちなか市地域公共交通網形成計画の評価方法

以下の方法で評価することについて、令和7年1月27日の第40回協議会において、承認をいただきました。

1 評価対象と評価期間

ひたちなか市地域公共交通網形成計画（以下、「網形成計画」とする）の評価にあたっては、計画で定めた「指標」と「各実施事業の成果」について評価の対象としております。

計画期間を①前期（平成29年度～令和2年度）と②後期（令和3年度～令和7年度）に分け、①前期の評価については、前期最終年度（令和3年2月）に評価を実施しました。

②後期の評価（今回の評価）については、計画期間全体の評価（令和6年度の見込値等を用いて評価）を実施し、次期計画を検討いたします。

2 「網形成計画」における体系

「目標」・・・4つの目標

「指標」・・・5つの指標

「事業」・・・27の事業

【各目標の指標数と事業数】

目標 (4)	「公共交通の充実・強化、公共交通機関相互の適切な役割分担とさらなる連携を目指します」	「まちづくりと連携した公共交通体系を目指します」	「公共交通の意識醸成を図り、公共交通全体の利用拡大を目指します」	「安全安心な公共交通を目指します」
指標 (5)	1	1	2	1
事業 (27)	6	10	8	3

3 評価方法

「③目標」の評価は、「①事業の成果」の評価と「②指標」の評価を併せて総合的に評価を行います。

区分	項目の評価との関連性		
③目標 (4)			「達成している」 「概ね達成している」 「達成できていない」
②指標 (5)		$a \cdot b \cdot c$	
①事業 (27)	$A \cdot B \cdot C$		

①「事業」の評価（達成状況）

以下の3段階の区分で評価します。

区分	基準
A	【順調】 取り組みが進んだ
B	【概ね順調】 取り組みが概ね進んだ
C	【要改善】 取り組みが進んでいない

②「指標」の評価（達成状況）

前期目標値（R2）と目標値（R7）を基準に、以下の3段階の区分で評価します。

区分	基準
a	【順調】 現時点で目標値（R7）を達成
b	【概ね順調】 目標値（R7）を達成していないが、前期目標値（R2）より向上または維持
c	【要改善】 目標値（R7）を下回り、前期目標値（R2）も下回る

③「目標」の評価（達成状況）

①「事業」と②「指標」の評価を組み合わせて評価します。

区分	①「事業」	②「指標」
達成している	「A」または「B」が「8割以上」	「a」, 「b」
概ね達成している	「A」または「B」が「8割以上」	「c」
	「A」または「B」が「6割以上」	「a」, 「b」
達成できていない	「A」または「B」が「6割以上」	「c」
	「A」または「B」が「6割未満」	「a」, 「b」, 「c」

4 評価一覧の見方

(1) 指標の評価

【指標1】スマイルあおぞらバスの年間利用者数

評価：b

評価結果

(単位：人)

	H27 【前期】 初年度	R2 【前期】 最終年度	R3	R4	R5	R6	R7 【後期】 最終年度
目標値	－	196,000	－	－	－	－	216,000
実績値	164,431	146,529	160,524	173,611	187,842	206,703	

(2) 事業の評価

事業名	内容	事業主体	達成状況 (令和7年10月現在)	評価
①市内交通体系の強化	それぞれの公共交通機関の役割を明確にし、市内のバス路線の体系の現況を整理するとともに、相互の乗継の利便性向上を図ります。 また、路線バスの運行がない時間をスマイルあおぞらバスで補完するなど、運行時間帯の調整を図ります。	活性化協議会 交通事業者 ひたちなか市	令和7年3月22日にスマイルあおぞらバスのダイヤ改正を実施し、柳が丘・関戸地区において、路線バスの運行がない時間帯を補完する運行を開始しました。スマイルあおぞらバスにより、路線バスの運行時間の補完がされたことから、概ね順調と評価します。	B

「網形成計画」の「8目標を達成するための事業及び実施主体」に記載されている内容をそのまま記載

現時点での状況

評価結果

評価結果

目標	①事業	②指標	評価結果
公共交通の充実・強化，公共交通機関相互の適切な役割分担とさらなる連携を目指します	6 事業 A 評価：2 B 評価：4 C 評価：0	1 指標 a 評価：0 b 評価：1 c 評価：0	①事業：A または B が 8 割以上 ②指標：b <div>達成している</div> 概ね達成している 達成できていない
まちづくりと連携した公共交通体系を目指します	10 事業 A 評価：5 B 評価：5 C 評価：0	1 指標 a 評価：0 b 評価：1 c 評価：0	①事業：A または B が 8 割以上 ②指標：b <div>達成している</div> 概ね達成している 達成できていない
公共交通利用の意識醸成を図り，公共交通全体の利用拡大を目指します	8 事業 A 評価：4 B 評価：4 C 評価：0	2 指標 a 評価：2 b 評価：0 c 評価：0	①事業：A または B が 8 割以上 ②指標：a <div>達成している</div> 概ね達成している 達成できていない
安全安心な公共交通を目指します	3 事業 A 評価：2 B 評価：1 C 評価：0	1 指標 a 評価：0 b 評価：0 c 評価：1	①事業：A または B が 8 割以上 ②指標：c 達成している <div>概ね達成している</div> 達成できていない

4つの目標のうち3つを達成しており，全体として概ね計画どおりに進捗しております。

指標の評価（達成状況）一覧

1 公共交通の充実・強化，公共交通機関相互の適切な役割分担とさらなる連携を目指します

【指標 1】スマイルあおぞらバスの年間利用者数 評価：b

（単位：人）

	H27 【前期】 初年度	R2 【前期】 最終年度	R3	R4	R5	R6	R7 【後期】 最終年度
目標値	－	196,000	－	－	－	－	216,000
実績値	164,431	146,529	160,524	173,611	187,842	206,703	
前年比	－	0.73	1.09	1.08	1.08	1.10	

2 まちづくりと連携した公共交通体系を目指します

【指標 2】ひたちなか海浜鉄道湊線の年間利用者数 評価：b

（単位：人）

	H27 【前期】 初年度	R2 【前期】 最終年度	R3	R4	R5	R6	R7 ※1 【後期】 最終年度
目標値	－	1,058,000	－	－	－	－	1,579,000
実績値	987,515	719,006	1,085,952	1,116,350	1,168,244	1,182,442	
前年比	－	0.67	1.51	1.02	1.04	1.01	

※1 湊線延伸区間の開業後の利用者数増加を見据えて算出したものです。

3 公共交通利用の意識醸成を図り，公共交通全体の利用拡大を目指します

【指標 3】公共交通不便地区の面積 評価：a

（単位：km²）

	H27 【前期】 初年度	R2 【前期】 最終年度	R3	R4	R5	R6	R7 【後期】 最終年度
目標値	－	16.49	－	－	－	－	15.81
実績値	17.86	14.34	13.54	13.54	13.54	13.54	

【指標 4】 運転免許返納者数 評価：a

(単位：人)

	H27 【前期】 初年度	R2 【前期】 最終年度	R3	R4	R5	R6	R7 【後期】 最終年度
目標値	－	350	－	－	－	－	450
実績値	244	547	576	470	419	471	

4 安全安心な公共交通を目指します

【指標 5】 ひたちなか海浜鉄道湊線の車両購入 評価：c

(単位：両)

	H27 【前期】 初年度	R2 【前期】 最終年度	R3	R4	R5	R6	R7 ※2 【後期】 最終年度
目標値	－	10	－	－	－	－	12
実績値	8	8	8	8	8	9	

※2 湊線延伸区間の開業後のダイヤ編成を見据えて算出したものです。

なお、令和6年度の増車は、観光列車としての運行に供するため購入したものです。

事業名	内容	事業主体	達成状況（令和7年10月現在）	評価
目標（1）公共交通の充実・強化，公共交通機関相互の適切な役割分担とさらなる連携を目指します				
①市内交通体系の強化	それぞれの公共交通機関の役割を明確にし，市内のバス路線の体系の現況を整理するとともに，相互の乗継の利便性向上を図ります。 また，路線バスの運行がない時間をスマイルあおぞらバスで補完するなど，運行時間帯の調整を図ります。	活性化協議会 交通事業者 ひたちなか市	令和7年3月22日にスマイルあおぞらバスのダイヤ改正を実施し，柳が丘・関戸地区において，路線バスの運行がない時間帯を補完する運行を開始しました。スマイルあおぞらバスにより，路線バスの運行時間の補完がされたことから，概ね順調と評価します。	B
②スマイルあおぞらバスの充実・強化	交通不便地区の解消のため，路線を見直すとともに，地域のニーズに応じて増便や運行時間帯の拡大を検討します。 あわせて，バスやワゴン車の増車について検討します。	活性化協議会 ひたちなか市	平成29年10月1日，平成30年10月14日，令和2年3月22日，令和5年9月4日，令和6年3月23日，及び令和7年3月22日に地域や利用者のニーズ，運行事業者の意見等を聞きながら，スマイルあおぞらバスのルート・ダイヤ等の見直しを行い，交通不便地区の解消が進んでいます。 また，平成30年10月14日に「平磯・那珂湊市街地コース」を新設し，現在は計8コースで運行しています。 地域のニーズに応じた充実・強化が継続的に行われており，利用者が20万人を突破するなど改善に確実な成果が見られることから，順調と評価します。	A
③わかりやすい案内の整備	スムーズな乗り継ぎが行えるよう，駅前等の案内の充実を図ります。	ひたちなか市	令和6年度にスマイルあおぞらバスの車両やバス停に共通の路線番号・バス停番号を導入し，複数コースが発着する駅前等における案内の充実について，概ね順調に進められました。	B
④乗り継ぎを促進する料金体系の導入	スマイルあおぞらバス同士，スマイルあおぞらバスとひたちなか海浜鉄道湊線などの間で乗継をする場合の料金の割引など，乗り継ぎを促す料金制度について検討します。	活性化協議会 交通事業者 ひたちなか市	乗継割引制度の導入に向けて検討を行った結果，事業者間での割引率の調整等，実施にあたっての課題が明らかになりました。そのため現時点での導入には至っていませんが，制度実現に向けた課題を整理できたことは一定の成果であり，概ね順調と評価します。	B
⑤共通乗車券の導入	路線バスとスマイルあおぞらバスの共通回数券や公共交通機関共通1日乗車券の導入を図ります。	活性化協議会 交通事業者	海浜鉄道と路線バスの共通乗車券である「ひたちなか市内路線バス・ひたちなか海浜鉄道1日フリー切符」を電子チケットとして販売するなど，公共交通機関相互の連携に取り組んだことから，概ね順調と評価します。	B
⑥佐和地区とひたちなか地区との新規路線の検討	JR佐和駅～ひたちなか地区間の新規バス路線について，隣接する那珂市や東海村との広域連携も含めて検討します。	活性化協議会 交通事業者 ひたちなか市	令和5年9月2日にJR佐和駅東西自由通路の整備及びJR佐和駅の橋上化により佐和駅東口が開設されました。同日，スマイルあおぞらバス「勝田中央コース」が佐和駅東口暫定ロータリーに延伸したことにより，「佐和地区」と「ひたちなか地区」が接続されました。 計画の目的であった新規路線整備が実現したため，順調（完了）と評価します。	A
目標（2）まちづくりと連携した公共交通体系を目指します				
①ひたちなか海浜鉄道の延伸	市民の利便性向上や観光客の回遊性を高め地域の活性化を図るため，国営ひたち海浜公園西口付近まで路線を延伸します。	活性化協議会 ひたちなか海浜鉄道 ひたちなか市	国との協議や許可手続を経て事業実施段階に入っており，概ね順調と評価します。	B
②ひたちなか海浜鉄道の新駅設置	平磯，磯崎，阿字ヶ浦地区の小・中学校の統合にあたり，児童・生徒の通学手段を確保するため新駅を設置します。さらに，利用状況などを踏まえ，適宜新駅の設置について検討します。	ひたちなか海浜鉄道 ひたちなか市	平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区の小中一貫校「美乃浜学園」の開校にあわせ，令和3年3月13日に新駅「美乃浜学園駅」を開業しました。児童・生徒の通学手段を確保したことから，概ね順調と評価します。	B
③公共交通結節点の整備	ひたちなか海浜鉄道湊線の延伸にあわせて，国営ひたち海浜公園西口前の茨城県土地開発公社所有地に駅前広場を整備します。あわせて，情報発信や交流機能を導入します。	活性化協議会 ひたちなか市	延伸事業の進捗に合わせて関係機関との協議を重ね，整備に向けた準備を進めており，概ね順調と評価します。	B
④佐和駅の東西自由通路設置及び駅舎橋上化	JR佐和駅東側の利用者の利便性向上と，線路により分断された地域の交流・活性化を図るため，東西自由通路の整備及び駅舎の橋上化を実施します。	ひたちなか市 交通事業者	JR佐和駅の橋上化および東西自由通路の整備を完了し，令和5年9月2日に供用を開始しました。 これにより，線路で分断されていた地域の一体化と利用者の利便性向上が図られ，事業目的を達成したことから，順調（完了）と評価します。	A
⑤駅前空間の環境整備	ひたちなか海浜鉄道において，駐車場や花壇などの駅前環境の整備について地域と連携しながら実施します。	ひたちなか市 交通事業者	磯崎駅のトイレ改修や防犯灯設置など環境整備をし，地域と連携した美化活動も継続されています。 整備と協働の両面で事業目的を達成しているため，順調と評価します。	A
⑥交通施設のバリアフリー化推進	バスや鉄道の車両及び主要な駅・停留所のバリアフリー化を推進します。	活性化協議会 交通事業者 ひたちなか市	茨城交通では勝田営業所及び那珂湊営業所が所管するノンステップバスを，平成29年度の15台から令和2年度までに34台，令和6年度までに43台に増車し，また，令和3年3月13日に開業した「美乃浜学園駅」は，スロープや点字ブロックが整備されるなど，概ね順調に取組が進められました。	B
⑦商店街との連携事業の促進	スマイルあおぞらバスやひたちなか海浜鉄道について，商店街と連携したPRや公共交通利用者割引特典などの利用促進策を推進します。	活性化協議会 ひたちなか市	海浜鉄道の利用者を対象に，おらが湊鐵道応援団では，那珂湊駅または乗務員が発行する「乗車証明書」を沿線の店舗や旅館等に呈示することにより各店オリジナルサービスが受けられる取組を実施しています。 地域と連携した湊線の利用促進の取組が着実に進められていることから，順調と評価します。	A

事業の評価(達成状況)一覧

【資料No.4】

事業名	内容	事業主体	達成状況（令和7年10月現在）	評価
⑧観光地へのパークアンドライド駐車場の整備	那珂湊おさかな市場やひたちなか地区周辺の渋滞対策及び湊線の利用促進策として、自家用車から鉄道やバスに乗り換えて観光地へ向うためのパークアンドライド駐車場を整備します。あわせて、道の駅としての利用可能性について検討します。	活性化協議会 交通事業者 ひたちなか市	令和7年5月に、ひたちなか・大洗リゾート構想協議会において、多客期における渋滞対策として、ひたち海浜公園付近の国有地及び県立海洋高等学校グラウンドに臨時駐車場を設け、駐車場からひたち海浜公園及び那珂湊おさかな市場を結ぶシャトルバスを運行しました。 渋滞対策及び公共交通の利用促進に取り組んだことから、概ね順調と評価します。	B
⑨地域との連携推進	自治会やコミュニティ、まちづくり市民会議などの地域の団体と連携し、路線評価、路線相談、利用促進体制の構築など地域で公共交通を支える体制の構築を目指します。	活性化協議会 交通事業者 ひたちなか市	市、ひたちなか海浜鉄道、自治会、商工会議所、おらが湊鐵道応援団等から構成される「湊鉄道対策協議会」では、ひたちなか海浜鉄道が販売する回数券（通常11枚綴りで10枚分の運賃）を、自治会員を対象に9枚分の運賃で販売できるよう補助をし、利用促進をしています。 令和6年度においては、市内84自治会のうち約半数の38自治会で購入がされており、地域と連携した継続的な取組が行われていることから、順調と評価します。	A
⑩環境施策との連携推進	県央地域首長懇話会構成市町村と協調してノーマイカーデーを実施して、公共交通の利用を促進します。	活性化協議会 交通事業者 ひたちなか市	いばらき県央連携中枢都市圏構成市町村と連携し、民間事業者もあわせて6月と12月にノーマイカーウィークを実施しています。取組が広域的に定着しており、計画の目的を達成したため、順調と評価します。	A
目標（3）公共交通の意識醸成を図り、公共交通全体の利用拡大を目指します				
①日常的な利用を促進する料金体系の導入	スマイルあおぞらバスで割引率の高い回数券や1日乗車券の発行、乗り継ぎ券の発行など利用促進につながる料金体系について検討します。	ひたちなか市	現在11枚セットの回数券を1,000円で販売しております。令和7年度には、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、11枚セット回数券を600円にて割引販売を実施するなど、利用促進につながる取組を実施したため、順調と評価します。	A
②時刻表の見直し	現在発行している路線図付時刻表のほか、地区別時刻表、コース別時刻表、乗り継ぎ時刻表など、利用者のニーズに即した時刻表を作成します。	活性化協議会 ひたちなか市	令和4年2月より、ひたちなか市の公式LINEの「便利な機能」にて、「ひたちなか海浜鉄道」と「スマイルあおぞらバス」の時刻表を確認できるようにしました。 公共交通を利用しやすい環境の整備に取り組んだことから、概ね順調と評価します。	B
③公共交通総合パンフレットの作成	市内公共交通全体の総合的な利用パンフレットを作成します。	活性化協議会 ひたちなか市	スマイルあおぞらバスのルート図に、鉄道の路線及び駅、市内バス路線及び主要な停留所を掲載しています。公共交通全体の利用拡大に向け取り組んだことから、概ね順調とします。	B
④利用ニーズの把握と反映	スマイルあおぞらバスへの乗車アンケートの実施や利用者懇談会を開催するなど、利用ニーズを把握し、運行計画等に適切に反映します。	活性化協議会 ひたちなか市	スマイルあおぞらバスの小中学生乗車無料期間および高齢者乗車無料期間において、利用者アンケートを実施しました。また、次期計画の策定にあたり、一般アンケートや高齢者アンケート、グループインタビューを通じて、スマイルあおぞらバスの改善につながる意見の把握にも取り組んでいます。このようなことから、順調と評価します。	A
⑤公共交通教育の推進	バスの乗り方教室やモビリティマネジメント教育などの公共交通教育を推進します。	活性化協議会	産業交流フェアにおいてバス運転士体験を実施しています。また、小中学生の夏休み期間にスマイルあおぞらバスの無料期間を設定することで、公共交通に触れる機会を作るなど、順調に実施がされています。	A
⑥広報活動の強化	行政と事業者が協力し、産業交流フェアやその他イベント等にブースを出展するほか、公共交通広報紙を発行し、公共交通利用の意識付けを図ります。	活性化協議会 交通事業者 ひたちなか市	産業交流フェアなどで行政と事業者が協力し、公共交通のPRや公共交通利用の意識付けを図るなど、概ね順調に取組が進んでいます。	B
⑦ＩＣカード導入の検討	スマイルあおぞらバスへのＩＣカード導入を検討します。	活性化協議会 交通事業者 ひたちなか市	ICカード含めたキャッシュレス決済は過渡期にあり、技術の進展について、様々情報収集に努めているため、概ね順調と評価します。	B
⑧運転免許返納者への対応	運転免許返納者に対するコミュニティバスの1年間乗車無料措置を継続するとともに、他の公共交通機関への拡大について検討します。	活性化協議会 交通事業者 ひたちなか市	運転免許返納者に対するコミュニティバスの1年間乗車無料措置を継続するとともに、令和6年度から高齢者乗車無料期間を実施しています。 路線バスでは、65歳以上の方を対象にすべての路線が乗り放題となる定期券を販売しています。民間タクシーでは、65歳以上の方を対象に初乗り運賃の割引サービスなどを実施しています。 このようなことから、順調と評価します。	A
目標（4）安全安心な公共交通を目指します				
①コミュニティバス車両の更新	導入から10年が経過し、年間6万キロを超える運行をしていることから、計画的に車両を更新します。	交通事業者 ひたちなか市	令和元年度から令和4年度までにバスを毎年1台更新し、令和元年度、4年度、6年度にワゴン車を1台ずつ更新し、順調と評価します。	A
②ひたちなか海浜鉄道車両の購入	ひたちなか海浜鉄道湊線の延伸に合わせ、運用の増加に必要な車両を購入します。	ひたちなか海浜鉄道	令和6年度に2台の車両を更新し、1台を増台する計画であり、令和7年度より計9車両にて運行する予定です。延伸に備え、車両の増台を計画的に行っていきます。指標の12台には至らない見込みですが、車両更新は着実に実施されていることから、全体として概ね順調と判断します。	B
③鉄道施設更新の推進	湊線第二期基本計画及び湊線第三期基本計画に基づき、施設や設備などの更新を計画的に実施し、海浜鉄道の安全な運行を確保します。	ひたちなか海浜鉄道	湊線第三期基本計画に基づき、老朽化した施設や設備などの更新を計画的に実施してきました。令和5年3月に湊線第四期基本計画を策定し、令和5年度から令和9年度までの期間の施設や設備の更新について、計画的に実施します。 継続的な更新体制が整っていることから、全体として順調と評価します。	A